



海外語学研修(英語) 派遣先大学概要

2025年4月

教務課 留学支援係 (短期留学担当)

夏季コース 派遣先大学

【アメリカ】

- ・ ペンシルベニア大学
- ・ ボストン大学
- ・ カリフォルニア大学デーヴィス校

【カナダ】

- ・ ヨーク大学

【英国】

- ・ グラスゴー大学
- ・ サセックス大学
- ・ ロンドン大学東洋・アフリカ研究院

【豪州】

- ・ シドニー大学

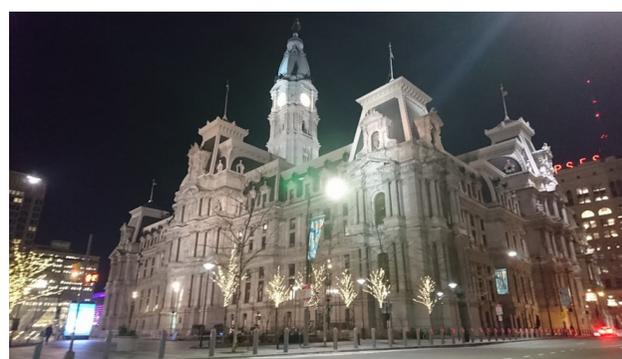


■所在地 米国ペンシルベニア州 フィラデルフィア

■都市情報 ニューヨークとワシントンD.C.のほぼ中間に位置する米国第6の都市。独立宣言が採択されたアメリカ合衆国誕生の地であり、自由の鐘のあるインディペンデンス国立歴史公園など歴史的な施設や美術館、博物館が見所。東部標準時に属し、日本との時差は-14時間。サマータイム期間（25/3/9～25/11/2）は-13時間。8月の平均最高気温は約29℃、最低気温は約20℃。

プログラム概要

派遣期間	2025年8月2日（土）～ 2025年8月31日（日）
研修先	1740年創立で、米国北東部の名門私立大学8校から成るアイビーリーグに属する。本学の協定校である。同大学のウォートン・スクールは世界的に最も高い評価を得ている名門ビジネススクールの一つ。優れたビジネス英語教育プログラムを実施している。
クラス形態	オープンクラス (Institute for Academic and Professional Studiesコース)
カリキュラム 20時間/週	<ul style="list-style-type: none"> ・上級英語力を有する学生を対象とした発展コース。 ・コアコース+ 2 選択科目 (6つの選択科目からレベルに合わせて2つを選択) 選択科目 Communication, Innovation & Technology, Leadership, Positive Psychology and Resiliency, Professional Business Writing, Strategic Planning and Perspective Communication, Sustainability ・大学教授によるレクチャー ・フィラデルフィア地域の学術・文化体験授業（共通） ・週2～3回の社会文化体験活動を予定
語学要件	TOEFL-ITPスコア500点～上限なし
滞在先	ホームステイ（個室/朝食セルフ+夕食週2回） ※ダブルプレースメントの可能性あり。
主な参加者 出身国	*夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があります。



Philadelphia city hall

■ 日程表

日次 / 月日 (曜)		地名	スケジュール
1	8月2日 (土)	東京 (羽田) 発	空路、シカゴへ 国際日付変更線
		シカゴ着 シカゴ発 フィラデルフィア着	シカゴで乗り継いでフィラデルフィアへ 研修先へ移動 (ホームステイ)
2	8月3日 (日)	フィラデルフィア	調整日 (ホームステイ)
3 5 30	8月4日 (月) 8月29日 (金)	フィラデルフィア	ペンシルベニア大学にて研修参加 (ホームステイ)
31	8月30日 (土)	フィラデルフィア発 ダラス着 ダラス発	空港へ移動 空路でダラスへ ダラスで乗り継いで東京 (羽田) へ 国際日付変更線 (機中泊)
32	8月31日 (日)	東京 (羽田) 着	

■ 参加費用 (概算)

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : 1,360,000円 (参考費用)

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコノミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・米国査証取得代金 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : 35,000円 (参考費用)

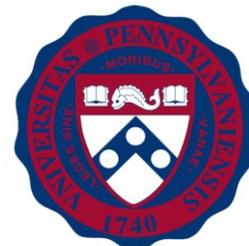
- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA)

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による)
- ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用

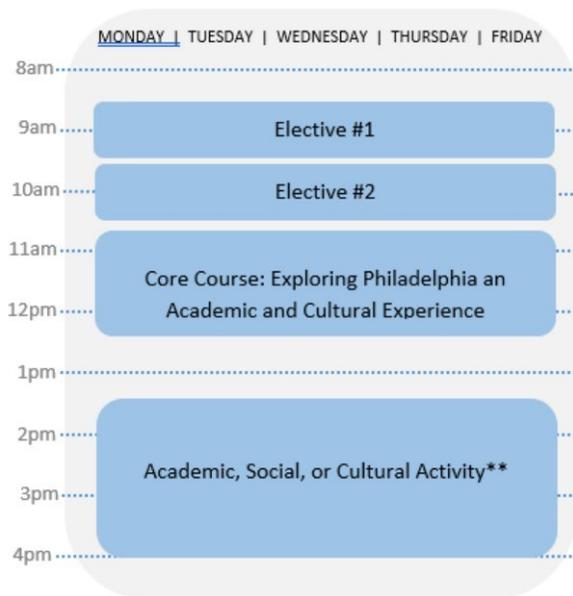


*スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。



Sample Class Schedule

20 academic hours per week*



*1 academic hour = 50 minutes

**Academic, social, or cultural activities are typically scheduled 2-3 times per week for students

下記アクティビティの実施が予定されています。

- Washington D.C. Trip
- Guest Lecture by UPenn Faculty on Positive Psychology
- Flyers Ice Hockey Game
- University Applications Workshop
- Guest Lecture by UPenn Faculty on Immigration
- Reading Terminal Market
- Guest Lecture Bioinspired Nanotechnologies
- Liberty Bell / Independence Park and Ben Franklin Museum
- Guest Lecture by Wharton Faculty on Leadership

レベル	IAS選択科目
初中級 ~ 中級	① Communications この科目では政治・ビジネス・エンターテイメントの実際のケーススタディーを分析して、SNSや広報、危機管理などのトピックを探求します。
中級~ 上級	② Innovation & Technology この科目では技術革新について探求します。複雑な概念を分かりやすい学術用語で説明するスキルを身につけ、テクノロジーに関する公式・非公式なプレゼンテーションを行います。
全レベル	③ Leadership この科目ではチームが一緒に成長し、学び、成功を収める方法と、リーダーが現れる方法に焦点を当て、組織のダイナミクスを探求します。リーダーが使用するプレゼンテーション戦略を分析し、チームプロジェクトやクラスプレゼンテーションに効果的な言語および非言語コミュニケーション戦略を組み込みます。
中級~ 上級	④ Positive Psychology and Resiliency この科目では、成長中のポジティブ心理学の分野を紹介し、この分野の概念である、特徴的な強み、ポジティブな感情、回復力、グリットなどを探求します。
上級	⑤ Professional Business Writing この科目では、様々なコミュニケーションスタイルテキストのサンプルを分析することにより、専門的なコミュニケーションの定義の理解を深めることができます。電子メールや手紙の形式、専門的な履歴書を作成する方法を調べます。
上級	⑥ Strategic Planning and Persuasive Communication この科目は、説得力のあるスピーキングスキルを向上させ、企画提案と販促するのに役立つように設計されています。効果的なスピーキングの要素について学び、ビジネスと広報におけるプレゼンテーションスキルを開発します。
中級~ 上級	⑦ Sustainability この科目では、限られた資源と拡大するニーズという地球規模の問題に対する批判的な認識を養います。歴史的、文化的、そして個々の持続可能な、あるいは持続不可能な実践例を通して、人々の選択が社会的、経済的、そして環境に与える影響について考察します。

「ペンシルベニア大学は、歴史のある
自由な大学です。」
(2024年度派遣学生によるキャッチコピー)

2024年度参加者からの声

授業・課題

ポジティブ心理学の授業では、自分が持っている潜在能力をディスカッションやアンケートを通じて発見する内容であった。この授業を受けて良かった点は自己肯定感が上がり、ありのままの自分を受け入れられるようになった点である。これまで自分が当たり前だと感じていて気づいていなかった自分の長所を発見/評価することができたからだ。(経・4年)

What I found the most interesting in the Core class was neighborhood research. I visited an African community called "Little Africa" alone. It became one of the greatest experiences for me to face a situation where I had to tackle problems completely by myself. Fortunately, research was so smooth that I enjoyed having lunch and interacting with some people in a Mauritanian restaurant. (法・1年)

課外活動

私が最も参加して良かったと思ったのは、ペンシルベニア大学ビジネススクールWhartonの見学です。世界トップレベルのビジネススクールをこの目で見ることができ、環境や空気を感じられたのは何にも代えがたい経験だったと思います。(商・4年)

UPENNに通う現地の学生と交流したいという思いで、UPENNのコーディネーターから不定期で開催されるUPENNの学生によるダンスレクチャーのイベントの存在を教えていただき参加した。思いのほかダンスが楽しくて、ダンスを通じて自然と多くの学生とコミュニケーションをとることができた。(法・1年)

ホームステイ

ホストマザーに出発前「〇〇でおすすめの場所ある？」帰宅後「今日はこんな体験したよ」と話しかけ、ホストマザーは快く応じてくれ、また彼女の持論や経験談を聞かせてくれたりした。ネイティブの早くてカジュアルな英語を全て聞き取るのは難しかったが、毎回必死に食らいついたり、聞き返したりした。日がたつにつれて速度に耳が慣れてきて、会話のキャッチボールも少しずつできるようになったのを実感して、自信を得ることができた。(法・1年)

Every interaction with my host was a language-learning opportunity, from casual chats in the kitchen to deeper discussions about life and culture. This immersive experience helped me improve my speaking and listening skills in a way that classroom learning alone could never achieve. (社・2年)



■所在地 米国マサチューセッツ州 ボストン

■都市情報 アメリカの中で最も古い街のひとつで、アメリカ独立の舞台となったところ。独立戦争ゆかりの歴史スポットは、歩道上に赤レンガの線で引かれた「フリーダム・トレイル」と呼ばれる歴史観光ルートでたどることができる。ハーバード大学やMITなど約60もの大学があり、ボストン美術館などアカデミックな要素もあり、日本からの留学も多い。東部標準時に属し、日本との時差は-14時間。サマータイム期間(25/3/9~25/11/2)は-13時間。8月の平均気温は最高27℃、最低18℃。

プログラム概要

派遣期間	2025年7月26日(土) ~ 2025年8月24日(日)
研修先	1839年創立。古くより有色人種や女性、留学生を積極的に受け入れていることで知られている。世界約140か国から集う5千人の留学生を含む、3万人超えの学部生・大学院生が学ぶ。主要な世界大学ランキングで100位以内に入っている。大学都市ボストンでも最大規模かつ代表的な名門私立大学。
クラス形態	クローズド&オープンクラス (Future Leaders in Innovation and Entrepreneurshipコース)
カリキュラム 20時間/週	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいベンチャービジネス等を行うために必要となるビジネス英語スキル向上を目的としたビジネスリーダーを目指す学生向けのハイレベルなコース。 ・イノベーションと起業家精神の基礎/コミュニケーションスキル、現役起業家からの講義、ビジネス現場視察、ビジネスアイデアに関するプロジェクト・プレゼンテーション ・フィールドトリップあり。 (イノベーションセンター・ビジネスコンペティション見学等)
語学要件	TOEFL-ITPスコア500点~上限なし
滞在先	ホームステイ *平日 2食、週末 3食付 ※ダブルプレースメントの可能性あり。
主な参加者 出身国	*夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があります。



ボストン美術館



Boston Tea Party Museum

■ 日程表

日次 / 月日 (曜)	地名	スケジュール
1	7月26日 (土)	東京 (成田) 発 空路、ニューヨークへ <small>国際日付変更線</small>
	ニューヨーク着 ニューヨーク発 ボストン着	ニューヨークで乗り継いでボストンへ 研修先へ移動 (ホームステイ)
2	7月27日 (日)	ボストン 調整日 (ホームステイ)
3 5 28	7月28日 (月) 8月22日 (金)	ボストン ボストン大学にて研修参加 (ホームステイ)
29	8月23日 (土)	ボストン発 空港へ移動 ニューヨーク着 空路でニューヨークへ ニューヨーク発 ニューヨークで乗り継いで東京 (羽田) へ <small>国際日付変更線 (機中泊)</small>
30	8月24日 (日)	東京 (成田) 着

■ 参加費用 (概算)

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : **1,462,000円(参考費用)**

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコノミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・米国査証取得代金 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : **35,000円 (参考費用)**

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA)

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による)
- ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用



Sample Program Calendar

*スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。

Day/Week	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Week 1	Program Orientation, Getting to Know Each Other & Introduction to Capstone Project BU Campus Tour and Student ID Registration	Module A: Foundations in the Entrepreneurial Mindset Modules B/E: Brainstorming and ideation	Modules B/E: Introduction to Elevator Pitches Small Talk and Networking Module D: Preparation for Field Visit	Module A: Market Research & Validation Social Entrepreneurship Module D: Field Visit	Module A: Women and minority-owned businesses Module B: Characteristics of effective teams Module C: Expert Guest Speaker Lecture #1
Day/Week	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Week 2	Module A: Branding and Logos Module B: Small Talk & Networking	Module A: Solving Problems in Business and Society Modules B/E: Developing Elevator Pitches Module D: Preparation for Field Visit	Module A: Lean start-up Module B: Expressing and defending arguments Module D: Field Visit	Module A: Intrapreneurial initiative Module C: Expert Guest Speaker Lecture #2	Module A: Network Effect Module B: Effective slide presentations
Day/Week	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Week 3	Module A: Accelerators Module D: Preparation for Field Visit	Module A: Presenting Your Ideas Understanding the Investment Community Module B: Effective Feedback	Module C: Expert Guest Speaker Lecture #3 Module D: Field Visit	Module E: Capstone Project Practice Pitches	Module A: Mergers and acquisitions
Day/Week	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Week 4	Modules A & B: Advanced Financial Planning & Advanced Market Validation Negotiation Skills	Module A: Intellectual Property and the Creation of Value Module B: Incorporating Feedback	Module C: Preparing for "You Be the Investor" activity Module D: Field Visit	Module E: Final Project Presentations: Final Projections and Advanced Market Validation Module C: Expert Guest Speaker #4: "You Be the Investor"	Module E: Final Project Presentations: Final Projections and Advanced Market Validation Program Evaluation Program Closing Celebration and Certificates

下記アクティビティの実施が予定されています。

- Boston University Business Innovation Center (BIC)
- Taza Chocolate Factory Guided Tour
- Innovations I Kendall Square Tour

オプションで下記アクティビティも設定される予定です。

- Boston Red Sox baseball game
- Boston Landmarks Orchestra at the DCR Hatch Memorial Shell outdoor theater
- Rose Kennedy Greenway walk and tour

「ボストン大学は、やりがいのある課題、 多様な仲間と成長できる大学です。」

(2019年度派遣学生によるキャッチコピー)

2019年度参加者からの声

授業・課題

1か月間で一つのビジネスプランを作り上げることがこのコースの主な目的である。商品名、会社名、市場調査とその分析、競争会社の分析、店舗の場所や値段、プロモーション方法など、自分達が決めたビジネスを4週間かけて仕上げた。ビジネスを考案する上で必要な知識を先生が教えてくれ、ハーバードビジネススクールの教材を使ったケーススタディを班で行い、毎日が刺激的だった。商学の知識がなくても分かりやすいように先生が説明してくれるので全く問題はないと思う。起業にあまり興味がなくてもクリエイティブなアイデアを皆で共有でき、十分に楽しめる内容だった。(商・2年)

一緒にプレゼンを行うチームに、中国の学生が3人いた。この3人とディベートをしていく中で大変だったことは、中国訛りの英語だ。最初は単語が聞き取れずに苦労していたが、先生が中国人生徒の発言をしっかりと理解していることに気がついた。そして私自身も慣れていくうちに聞き取れるようになった。最初は苦手意識が強かったものの、自分にとって、これから英語で様々な文化圏の人と話すことを考えると、価値のある時間を過ごせたと思う。(経・1年)

課外活動

授業とは関係なく大学の提供するアクティビティはほぼ毎日のようにあり、その面でも充実していたように思う。異文化交流と称して民族料理を振る舞う小規模なパーティーのようなものを度々行っていた他、近くの観光地への小さいツアーもやっていた。(経・3年)

最初に勉強とは少し離れ、頭と身体を使うレク施設を訪れた。ここでのテーマは「チームワークを深めること」。このプログラムは4週間固定の3~4人グループで進められるため、その中でのチームワークが非常に重要であった。実際、授業開始2日目で訪れたので最初はグループメンバーと打ち解けられるか不安だったが、終わった頃にはどのグループも気軽に話せるようになっており、この体験の重要性を感じた。(社・2年)

ホームステイ

I spent one month with a 79 years old woman. The great thing about homestay was that I could enjoy American life. The differences between American life and Japanese are large. When I got home, I talked with my host mother about what happened today. She seems to have stayed with many international students. Encouraged me to play with friends. At first I was confused by my poor English ability. However, they gradually became used and began to communicate. (商・1年)

ホームステイをしたこの1ヶ月の滞在は生涯忘れたくないほど、本当に有意義な時間となり、素敵なホストマザーに恵まれたことに心から感謝している。何よりも嬉しかったことは、ホストマザーが家族のように受け入れてくれたことだ。ホストマザーは夕方6時過ぎまで自宅で仕事をしており、それが終わってから夕食を作ってくれた。私自身も料理が好きなため、忙しく無い限り夕飯を一緒に作った。一緒に料理をしたことで、彼女を家族のように感じ、毎日の帰宅が本当に楽しみだった。(社・2年)



■所在地 米国カリフォルニア州 デーヴィス

■都市情報 のどかな田園風景が広がるデーヴィスは、住民の半分以上がカリフォルニア大学関係者というアットホームな大学街。ワインの産地として有名なナパバレーやカリフォルニア州の州都サクラメントにもほど近く、四季折々の美しい自然が楽しめる。自転車の街としても知られている。日本との時差は、-17時間。サマータイム期間（25/3/9～25/11/2）は-16時間。平均最高気温8月が34℃、9月が32℃。最低気温は8月が14℃、9月が13℃。

プログラム概要

派遣期間	2025年8月7日（木）～ 2025年9月7日（日）
研修先	カリフォルニア大学機構(UC System)の1校で、広大なキャンパスを有する。付属のUC Davis Extensionは1960年から留学生向け英語教育をはじめとする生涯学習を提供しており、UC Systemの英語研修プログラムの中でも最も歴史があり評判が高い学校の一つ。カリフォルニア大学は本学の交流協定校。
クラス形態	オープンクラス(Communication and Culture Programコース)
カリキュラム 20時間/週	<ul style="list-style-type: none"> ・日常英語とアメリカ文化紹介を中心としたプログラム。 ・UCDの学生がConversation partnerとしてサポート ・多彩なアクティビティをラインアップ ・以下の4つの柱に沿った授業。 Intellectual Research Project US Society and Culture Listening and Pronunciation Everyday Expressions and Idioms
語学要件	TOEFL-ITPスコア450点～上限なし
滞在先	ホームステイ *平日 2食、週末 3食付 ※ダブルプレースメントの可能性あり。
主な参加者 出身国	*夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があります。



キャンパス内にはEggheadsというオブジェが7つあり、それぞれ意味や教訓がある。↓



■ 日程表

日次 / 月日 (曜)	地名	スケジュール	
1	8月7日 (木)	東京 (羽田) 発	
		空路、サンフランシスコへ 国際日付変更線	
	サンフランシスコ着	研修先へ移動 <ホームステイ>	
2	8月8日 (金)	デーヴィス	
3	8月9日 (土)		調整日
4	8月10日 (日)		<ホームステイ>
5	8月11日 (月)	デーヴィス	カリフォルニア大学デーヴィス校にて研修参加
30	9月5日 (金)		
31	9月6日 (土)	サンフランシスコ発	空港へ移動 空路、東京 (羽田) へ 国際日付変更線 <機中泊>
32	9月7日 (日)	東京 (羽田) 着	

■ 参加費用 (概算)

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : 1,084,000円 (参考費用)

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコノミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : 37,000円 (参考費用)

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA) ・電子渡航認証 (ESTA) 費用

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による)
- ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用



Sample Schedule

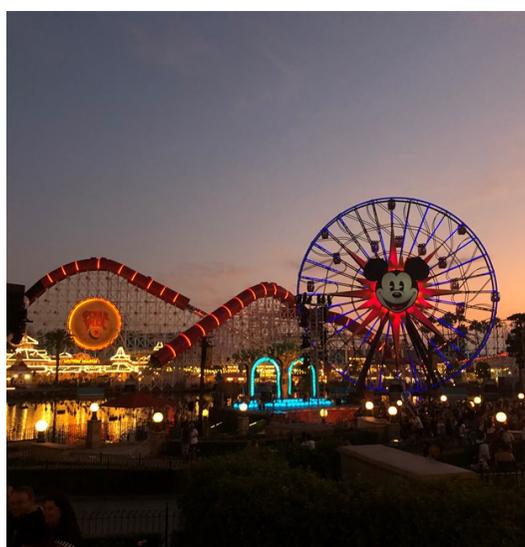
* スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。

1st Week ~ 4th Week

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9-9:50 a.m.	U.S. Society and Culture	Weekly Special Presentations (10-11:30 a.m.)			
10-10:50 a.m.	Listening and Pronunciation	Listening and Pronunciation	Listening and Pronunciation	Listening and Pronunciation	
11-11:50 a.m.	Intercultural Research Project	Intercultural Research Project	Intercultural Research Project	Intercultural Research Project	
12-1 p.m.	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch
1-1:50 p.m.	Everyday Expressions and Idioms				
3 p.m.	Movie and Popcorn	Conversation Groups	Arts and Crafts	Conversation Groups	Ice Cream Social

本コースにはアクティビティが含まれておりません。

オプションアクティビティ / 別料金
ロサンゼルス旅行 (2泊3日程度)
ヨセミテ旅行 (1泊2日程度)



「カリフォルニア大学デーヴィス校は、アメリカらしい自然豊かで異文化を学べる大学です」

(2024年度派遣学生によるキャッチコピー)

2024年度参加者からの声

授業・課題

We competed to my classmates using the game application in the class of English expressions and idioms. This style of learning language method matched with me and this quiz motivated me to study and remember the idioms. We could learn many expressions effectively in this class while working hard and encouraging each other. (商・2年)

EIBコースのHot Topics in Businessという授業で、現在のビジネスにおけるホットピックを1つ選びそれに関する記事から学んだことを2,3分で話すという個人プレゼンテーションを行った。準備として記事を自分で探し、読むことを通じて、英語の記事への抵抗感が少なくなったと感じる。これからは英語の記事を敬遠しすぎず、読む機会を作っていきたいと思う。(社・4年)

課題の中で現地の人にインタビューするというものがあり、知らない人にいきなり声をかけるという経験が日本でもあまりなかったためとても緊張したが、アメリカの人はフレンドリーな人が多く、現地の人との交流の機会にもなりとても良い経験になったと感じた。(社・2年)

課外活動

水曜日は私たち留学生数人のグループに現地学生一人がついて、あらかじめ決められたお題について会話をするという英会話クラブが開かれていた。お題は毎週異なり、映画や音楽などの個人の趣味から、文化や挨拶など一般的な日米間の近いまで幅広く議論することができた。現地学生がたどたどしい私の英語を一生懸命聞いてくれたおかげで、自信をもって英語を話せるようになった。(商・2年)

この留学が決まったその日にUCDの剣道部に連絡しました。17:30に授業が終わるとダッシュで練習場に向かいました。練習中は日本との練習内容の違いを見つけたりと様々な発見がありました。練習後は皆とダウンタウンに行って、まさにアメリカンサイズの料理店によく行きました。アメリカの学生のマシンガントークに触れ、とにかく速くついていくのが精一杯で、今のままでは海外の大学で生きていけないなどひしひしと実感しました。自分の英語力の危機感を感じることができ、そういう意味でも練習に参加して良かったと思いました。(経・2年)

ホームステイ

At first, I was very nervous and I couldn't talk to my host family affirmatively. However, I didn't want to miss the valuable opportunities to improve my English skills, so I decided to talk to them with more courage, and I tried to communicate with my host father before breakfast. I was able to talk about many topics, like the cultural differences or politics. I found that we had to gain good chances by ourselves, and it was very important to have courage to challenge something difficult. (商・2年)

家ではいつもホストマザーと一緒にご飯を食べ、その際いつも会話の時間を作ってくれて、純粋に会話を楽しむことができたことに加えて、生きた英語に触れることで自分のリスニング力を向上させることができたのではないかと思います。ホストマザーの友人たちも学業についてだけでなく人生のアドバイスのようなこともよく話してくれ、それらは人生の先輩からの貴重な言葉でこれから生きる上で忘れずにいたい言葉だと思った。(社・2年)



■所在地 カナダ オンタリオ州 トロント

■都市情報 カナダ最大の都市。北米屈指の世界都市であり金融センターである。オンタリオ湖岸の北西に位置する。カナダ経済の中心地でもある。

東部標準時に属し、日本との時差は-14時間。

サマータイム期間（25/3/9～25/11/2）は-13時間。

8月の平均最高気温は24℃、最低気温は17℃。

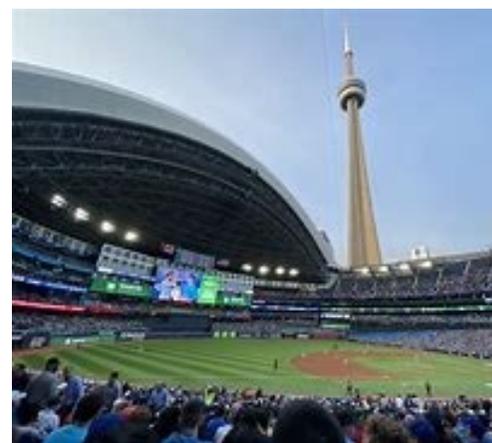
プログラム概要

派遣期間	2025年7月26日（土）～ 2025年8月24日（日）
研修先	1959年創立のトロントにある州立大学。カナダで3番目の大きさの広大なキャンパスで、ビジネススクールは世界的にも非常に高評価を受けている。キャンパスには5つの図書館や書店、カフェ、スポーツジムなどの他クリニック、銀行、40以上のレストランが揃っている。
クラス形態	クローズド&オープンクラス (Summer Immersion Program)
カリキュラム 20時間/週	<ol style="list-style-type: none"> 1 集中的かつ体系的な語学プログラム 2 社会的・異文化的コミュニケーション能力を伸ばす。 3 急速に変化するグローバル経済で成功するための英語力を身につける。 <p>Instructional Hours</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Integrated Skills ESL Classes ・Orientation Ceremony / Farewell Ceremony <p>Socio-Cultural Package Hours</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Cultural Conversation Sessions ・On-campus Activities ・Trips and Excursions
語学要件	TOEFL-ITPスコア450点～上限なし
滞在先	ホームステイ（3食付） ※ダブルプレースメントの可能性あり。
主な参加者 出身国	*夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があります。



ヨーク大学駅

中心部



トロントブルージェイズの球場



トロント旧市庁舎

■ 日程表

日次 / 月日 (曜)	地名	スケジュール
1 7月26日 (土)	東京 (羽田) 発	空路、トロントへ
	トロント着	研修先へ移動 国際日付変更線 〈ホームステイ〉
2 7月27日 (日)	トロント	調整日 〈ホームステイ〉
3 7月28日 (月)	トロント	ヨーク大学にて研修参加
28 8月22日 (金)		
29 8月23日 (土)	トロント発	空港へ移動 空路、東京 (羽田) へ 国際日付変更線 〈機中泊〉
30 8月24日 (日)	東京 (羽田) 着	

■ 参加費用 (概算)

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : 1,037,000円 (参考費用)

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコノミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : 35,000円 (参考費用)

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA) ・電子渡航認証 (ETA) 取得費用

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による)
- ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用



Sample Schedule

*スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。

1st Week ~ 4th Week

Sample Customized Immersion Schedule

Time Week 1	Monday Day 1	Tuesday Day 2	Wednesday Day 3	Thursday Day 4	Friday Day 5	Saturday Day 6	Sunday Day 7
B:3D-10:30	Welcome Reception Diagnostic Placement	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills		Reset Day No Class
10:45-11:45	Campus Tour	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills		
11:45- 1:00	Lunch						
1:00							
Time Week 2	Monday Day 8	Tuesday Day 9	Wednesday Day 10	Thursday Day 11	Friday Day 12	Saturday Day 13	Sunday Day 14
8:30-10:30	Statutory Holiday (No Class)	Program Orientation	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills	Niagara Falls Trip	
10:45-11:45			Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills		
11:45-1:00		Lunch					
1:00		Cultural Conversation Session 1	Neighborhood Tour	Cultural Conversation Session 2	Ripley's Aquarium Visit		
							
Time Week 3	Monday Day 15	Tuesday Day 16	Wednesday Day 17	Thursday Day 18	Friday Day 19	Saturday Day 20	Sunday Day 21
8:30-10:30	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills		Rest Day No Class
10:45-11:45	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills		
11:45-1:00	Lunch						
1:00	Cultural Conversation Session 3	CN Tower Visit	Cultural Conversation Session 4	Royal Ontario Museum (ROM) Visit	Campus Event		
							
Time Week 4	Monday Day 22	Tuesday Day 23	Wednesday Day 24	Thursday Day 25	Friday Day 26	Saturday Day 27	
8:30-10:30	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills	Departure	
10:45-11:45	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills	Integrated Skills		
11:45-1:00	Lunch						
1:00	Cultural Conversation Session 5	Cultural Conversation Session 6	Art Gallery of Ontario (AGO) Visit	Campus Event	Farewell Ceremony		
							

参加者からの声

2025年度に新設されたコースで、未だ参加した学生がいません。
初の参加者となって、次の方へあなたの声を届けてみませんか？



■所在地 英国スコットランド グラスゴー

■都市情報 エジンバラの西に位置するスコットランド最大の都市。貿易港としての歴史を有する。また、チャールズ・レニー・マッキントッシュの作品建築群などデザインの分野でも注目されている。日本との時差は-9時間。サマータイム期間（25/3/30～25/10/26）は-8時間。7月の平均最高気温は19℃、平均最低気温は11℃。8月の平均最高気温は18℃、平均最低気温は10℃。

プログラム概要

派遣期間	2025年7月26日（土）～ 2025年8月31日（日）
研修先	1451年創立。英語圏最古の大学の一つで、英国のアイビーリーグともいわれる一流研究大学の連合であるラッセルグループのメンバー。教育の質のみならず、歴史ある校舎に最新の設備を備えた学習環境も高い評価を得ている。
クラス形態	オープンクラス(English for Academic Studyコース)
カリキュラム 16～23時間 /週	<ul style="list-style-type: none"> ・IELTS6.0レベルの英語力を有する学生対象のプログラム ・大学院へ進む学生のpre-sessional courseとして開講されている ・下記の6コースのいずれかを履修（選択できない） ※2024年度は一橋生全員「Social Sciences」となった。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Accounting and Finance 2. Management 3. Science, Technology, Engineering & Urban Planning 4. Law 5. Social Sciences 6. Biomedical Sciences <ul style="list-style-type: none"> ・レクチャー聴講やソーシャルプログラムに参加することにより、他国の学生と交流が可能。
語学要件	TOEFL-ITPスコア550点～上限なし
滞在先	<p>学生寮（個別の部屋提供、シャワールーム付、キッチン・トイレは共有）</p> <p>*食事なし（自炊または外食対応が必要）</p>
主な参加者 出身国	グラスゴー大学院に進む中国からの留学生が多い。



■ 日程表

日次 / 月日 (曜)	地名	スケジュール
1 7月26日 (土)	東京 (羽田) 発	空路、ロンドンへ
	ロンドン着 ロンドン発 グラスゴー着	ロンドンで乗り継いでグラスゴーへ 研修先へ移動 (学生寮)
2 7月27日 (日)	グラスゴー	調整日 (学生寮)
3 7月28日 (月) 4 7月29日 (火) 5 7月30日 (水) 6 7月31日 (木) 7 8月1日 (金) 8 8月2日 (土) 9 8月3日 (日) 10 8月4日 (月) 11 8月5日 (火) 12 8月6日 (水) 13 8月7日 (木) 14 8月8日 (金) 15 8月9日 (土) 16 8月10日 (日) 17 8月11日 (月) 18 8月12日 (火) 19 8月13日 (水) 20 8月14日 (木) 21 8月15日 (金) 22 8月16日 (土) 23 8月17日 (日) 24 8月18日 (月) 25 8月19日 (火) 26 8月20日 (水) 27 8月21日 (木) 28 8月22日 (金) 29 8月23日 (土) 30 8月24日 (日) 31 8月25日 (月) 32 8月26日 (火) 33 8月27日 (水) 34 8月28日 (木)	グラスゴー	グラスゴー大学にて研修参加 (学生寮)
36 8月30日 (土)	グラスゴー発 ロンドン着 ロンドン発	空港へ移動 空路でロンドンへ ロンドンで乗り継いで東京 (羽田) へ (機中泊)
37 8月31日 (日)	東京 (羽田) 着	

■ 参加費用 (概算)

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : 1,149,000円 (参考費用)

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコノミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : 37,000円 (参考費用)

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA) ・電子渡航認証 (UKeTA) 取得費

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による)
- ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用



Loch Lomond



Glasgow Cathedral

Sample Schedule

*スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。

Social Sciences

Week 2	Session	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	
Prejudice Macro-level features Croizet & Claire	9.00-10.30	9. CONSULTATIONS Check times with tutor Students must bring offer letter copy	11. LECTURE Essay structures and basic paragraph org.	13. LECTURE Using sources 2	15. LECTURE Intros and Concs Lexical links	17. GUEST LECTURE (L)	
	11.00-13.00		Cohort B	12. TUTORIAL (R) Extending concept of Stereo-type threat	14. TUTORIAL (L) Stereotype threat Supplementary Listening	16. TUTORIAL (S) Seminar: Prejudice and Discrimination	18. TUTORIAL (S) Presenting & developing plans Flexi-consultation
	14.00-16.00		Cohort A	12. TUTORIAL (R) Extending concept of Stereo-type threat	14. TUTORIAL (L) Stereotype threat Supplementary Listening	16. TUTORIAL (S) Seminar: Prejudice and Discrimination	18. TUTORIAL (S) Presenting & developing plans Flexi-consultation
Process: Planning	AS/SSE, etc.	10. BACKGROUND PREPARING FOR A SEMINAR 1 (AS)	➔	4.15 – 5.00 Exploring your Options Lecture: New Block C students only	➔	➔	
Key outcomes and submissions week 2		Reading list, summaries, thesis statement and title for consultation			Essay plan & draft introduction Moodle		

Management

Week	Module	Main aims and key skills
1	Managing External Relationships	Introduction to academic writing; finding sources and reading a subject-specific text; following academic lectures; speaking in groups.
2	Managing Operations	Using feedback to improve written work; reading long and complex texts; listening to dialogues; discussing theories and developing a position
3	Managing Internal Relationships	Critical thinking; reading journal articles; discussing key concepts from guest lectures and reading; presentation skills
4	Managing Operational Finance	Developing an essay outline; using sources; reading an academic textbook; discussing a text
5	Review	End of course tests; review of learning objectives; feedback on progress.

Finance

	9.00 – 10.30	11.00 – 1.00
Monday	Seminar: Cohesion	Tutorial: Reading + note-taking/language work
Tuesday	Guest Lecture: "Management Control Systems"	Tutorial: Critical thinking
Wednesday	Seminar: Presentation skills	Consultations
Thursday	Seminar: Writing - Expressing degrees of certainty	Tutorial: Lecture follow-up and discussion
Friday	Lecture: Reading – "Efficient Market Hypothesis"	Presentations: Critical summary of a text

「グラスゴー大学は、ちょっと自分に負荷をかけて頑張りたい人にぜひ挑戦してほしい大学です」
 (2024年度派遣学生によるキャッチコピー)

授業・課題

2024年度参加者からの声

I strongly feel that throughout this course, I was able to improve my English skills in all aspects. Especially, my writing skills were getting better day by day. I also think I was able to improve my speaking fluency. My daily lives helped me getting used to speaking in English naturally, and tutorial classes and speaking assessment helped me getting better at discussing sometimes complicating academic topics. (経・4年)

授業がない日は assessment と呼ばれる試験を受けました。writing assessment が 3 回、listening/reading assessment が 2 回ずつあり、それぞれ IELTS バンドの基準で成績が公開されました。特に writing では tutor からのアドバイスを受けることができました。試験や課題をこなすのは想像していた以上に大変でしたが、秋冬学期の PACE の授業を受けていて、自分の英語のスキルが向上したことを感じています。(商・1年)

What can be learned are not limited to the field of social science and useful for other fields of study. However, that doesn't mean this course is not suitable for students who just want to improve their English skills or those who don't have clear future plan. This course does require relatively high level of English, so it would not be an easy course for everyone, but it surely provides opportunities to improve all kinds of English skills. (経・4年)

課外活動

平日は授業が 1 時頃には終わっていたので、午後にはいつも自由な時間を過ごすことができました。大学では語学コースに参加する学生にチャットクラブというカジュアルに会話できる場所が用意されていた。ネイティブの学生もいたので、滞在期間中でとても有意義な会話を話せる時間だった。イギリスはもちろん他の国の文化について知る良い機会となったし友達を作ることでもできた。(商・4年)

I took part in a school trip to Edinburgh. The trip was organized by the university and was free of charge. I explored Edinburgh with one of my Chinese friends, and this experience not only helped my improve my English-speaking skills but also allowed us to discuss our cultural backgrounds in a meaningful way. (商・4年)

学生寮 (2024年度は Queen Margaret Residence に滞在)

フラットメイトは私にとって家族のような存在で、ドライバーから火が出て避難した時も、面倒くさくなって袋に入ったレタスを手で直接食べていた朝も、エッセイの締め切りに追われている夜も、そして何でもない休日にも一緒に過ごした大切な仲間です。私が遅くまで図書館で勉強していた日には私の帰りを心配して電話をかけてきてくれたり、ディスカッションのテストの前日には、質問をし合って答える練習をしたりもしました。(商・1年)

On the day all the tests were over, all the Hitotsubashi University students planned a party and carried it out in the lounge of dormitory. Each person brought food items. Later in the party, we played table tennis and board games. It was a very enjoyable party with a sense of freedom after the tests were over. I was able to deepen my friendships with other Hitotsubashi University students. I felt it was wonderful to have a space in the dormitory where we could all get together. (社・4年)

サセックス大学 (GEP) University of Sussex General English Program

<https://www.sussex.ac.uk/languages/english/summer>

学生寮



■所在地 英国イングランド ブライトン

■都市情報 イングランド南部にある海辺の街で、イギリスでも有数のリゾート地。ビーチがあるため夏季は特に賑わう。首都ロンドンからは電車で約1時間。ロンドンに比べ街自体小さい、歴史的建築物や博物館、ショッピングセンターなどの施設が充実し、お洒落な浜辺の街として知られる。日本との時差は-9時間。サマータイム期間（25/3/30～25/10/26）は-8時間。8月の平均気温は最高20℃、最低13℃。

プログラム概要

派遣期間	2025年8月1日（金）～ 2025年8月31日（日）
研修先	1961年創立。特に人文科学研究の充実した大学として国内外に知名度が高い。約90か国から多くの留学生を受け入れており、また在学中に留学する割合も高く、国際交流活動に積極的に取り組んでいる。英国政府が「傑出した自然美を持つ地域」に指定したSouth Downs国立公園内にある。
クラス形態	オープンクラス(Summer at Sussexコース)
カリキュラム 21時間/週	<ul style="list-style-type: none"> 以下の6つの内容から授業を構成。 Listening and speaking skills Vocabulary development Grammar Reading skills Writing skills British Life and Culture <p>・午後の授業の一環としてブライトン市内および近郊の歴史的な名所訪問。</p>
語学要件	TOEFL-ITPスコア450点～上限なし
滞在先	学生寮（個別の部屋提供、バスルーム付） *食事なし（自炊または外食対応が必要）
主な参加者 出身国	*夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があります。



■ 日程表

日次 / 月日 (曜)	地名	スケジュール
1 5 2	8月1日 (金)	東京 (成田) 発 空路、ドーハへ
	8月2日 (土)	ドーハ着 ドーハ発 ドーハで乗り継いでロンドンへ ロンドン着 研修先へ移動 〈学生寮〉
3	8月3日 (日)	ブライトン 調整日 〈学生寮〉
4 29	8月4日 (月)	ブライトン サセックス大学にて研修参加 〈学生寮〉
	8月29日 (金)	
30	8月30日 (土)	ロンドン発 空港へ移動
		ドーハ着 空路でドーハへ
		ドーハ発 ドーハで乗り継いで東京 (成田) へ 〈機中泊〉
31	8月31日 (日)	東京 (成田) 着

■ 参加費用 (概算)

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : 939,000円(参考費用)

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコノミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : 37,000円 (参考費用)

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA) ・電子渡航認証 (UKeTA) 取得費

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による) ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用



8月のプライド・パレード (ブライトン)



Sample timetable

スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
09.00-10.30	Vocabulary	Grammar	Vocabulary	Grammar	Vocabulary
11.00-12.30	Listening and speaking	Reading skills	Listening and speaking	Writing skills	Listening and speaking
14.00-16.00	British life and culture	British life and culture		British life and culture	



ブライトン・ビーチ

イギリスの伝統的デザート
"イートンメス"

ブライトンのポートハウス

「サセックス大学は多様な人々が集まる オープンマインドな大学です。」

(2023年度派遣学生によるキャッチコピー)

2023年度参加者からの声

授業・課題

この語学研修を通じて、英語を話すことにためらいを感じるものが少なくなり、度胸がついたと思う。最終週に日本の文化を題材に一人ずつプレゼンをする機会があったが、プレゼンの最中に担当講師から質問が飛んでくるのが新鮮で、その質問に即座に反応するのが難しくもありつつ、やりがいを感じ、楽しかった。(法・2年)

授業内容としては、基本的には英文法、リスニング、ディスカッションが中心であった。英文法については、高校レベルの英文法を英語のまま学び直すという側面が強かったように思う。日本で習ったものの、どのように運用するか理解できていなかった英文法について、授業中に講師に質問し、ネイティブスピーカーの生の意見を聞くことができた点は非常に自分のためになったと思科する。また、日本での英語学習過程で全く習わないものの、ネイティブがよく使う表現についても数多く知ることができた。(法・2年)

課外活動

British people usually enjoy British dishes by adjusting their taste to match their likings with salt and ketchup, so that the food itself is served with a slightly bland test. I think this is why Japanese people sometimes say that British food is bad. However, all the dishes I had in the UK were delicious. From this experience, I felt it was important to experience things without being influenced by prejudice. (社・2年)

最終日にはウィンブルドンを訪れた。私はテニスが大好きなので、無理やりスケジュールを確保した。現在大会は行われていないが、90分間のツアーが開催されており、有名なセンターコートにも入ることができた。英語のツアーに参加するのは少し不安だったが、ガイドしてくれた方の英語がこの1か月の中で最も聞きやすいものであったこと、私がテニスの知識を持っていたことで、ほとんど聞き取ることができ、とても自信になった。(商・4年)

学生寮 (2023年度は East Slopeに滞在)

寮は大学の敷地内にあり、個人の部屋、共用のキッチン、共用のトイレ・シャワーが与えられた。セキュリティは良好で、寮の建物の入り口のドア、フロアごとのドア、部屋のドアの3回でカードキーが必要だった。オートロックだったため、時々カードキーを部屋の中に置いたまま部屋を出てしまい締め出されることがあったが、2分くらい歩いてレセプションへ行き担当の方に対応してもらえばすぐに解決できた。寮の立地は丘の頂上付近にあったので、教室や最寄り駅、洗濯やスーパーに行くために階段を沢山上り下りしなくてはならず大変だったが、良い運動になったと思う。(経・2年)

寮で外国人と英語でコミュニケーションをとりながら生活するような、英語漬けの日々とはならなかった。その対策として、寮の中ではたまに英語で会話していた。話す内容は日本語で話すのと変わらないような身近なもので、授業よりも話しやすかった。また、日本人同士だからこそお互いの英語に寛容で、文章を構成することに注力できた。(商・3年)



■所在地 英国イングランド ロンドン

■都市情報 ヨーロッパを代表する観光都市でもあるロンドンは、新旧様々な分野において「世界の一流」に出合えることが魅力。大英博物館をはじめとしたミュージアムのほか、音楽や芸術でも、偉大な歴史と最先端が共存する。広大な公園が点在し、緑が多いのも特徴の一つ。日本との時差は-9時間。サマータイム期間（25/3/30～25/10/26）は-8時間。8月の平均最高気温は22℃、最低気温は15℃。9月の平均気温は最高19℃、最低13℃。

プログラム概要

派遣期間	2025年8月16日（土）～ 2025年9月7日（日）
研修先	1916年設立。学問領域にとらわれない学際的教育が特徴とされる。またアジアやアフリカ、中東地域の研究に特化した開発学研究の分野では、世界トップレベルの大学。研究対象の地域から多数の留学生や研究者を受け入れており、国際色豊かな大学としても知られている。
クラス形態	オープンクラス (International Relationsコース)
カリキュラム 18～20時間/週	<ul style="list-style-type: none"> ・3週間プログラム（週18時間） ・講義、セミナー、ケース・スタディ、ディスカッション・クラスと、それをサポートする英語の授業で構成されている。 ・様々な国際問題についてプレゼンやロールプレイングを行う。 ・総合語学の授業では教科の内容を使ったスキルアップ（特にスピーキングとリスニング）に重点が置かれる。
語学要件	TOEFL-ITPスコア530点～上限なし
滞在先	<p>学生寮（個別の部屋提供、シャワー・トイレ付、キッチン・リビングは6人の学生で共有）</p> <p>*食事なし（自炊または外食対応が必要）</p>
主な参加者 出身国	*夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があります。



ハリーポッターで有名なキングスクロス駅



■ 日程表

日次 / 月日 (曜)	地名	スケジュール
1 8月16日 (土)	東京 (羽田) 発	空路、ドーハへ
	ドーハ着	
2 8月17日 (日)	ドーハ発	ドーハで乗り継いでロンドンへ
	ロンドン着	研修先へ移動 <学生寮>
3 8月18日 (月)	ロンドン	ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院にて研修参加
	9月5日 (金)	<学生寮>
22 9月6日 (土)	ロンドン発	空港へ移動
	ドーハ着	空路でドーハへ
	ドーハ発	ドーハで乗り継いで東京 (羽田) へ <機中泊>
23 9月7日 (日)	東京 (羽田) 着	

■ 参加費用

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : 1,053,000円 (参考費用)

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコノミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : 37,000円 (参考費用)

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA) ・電子渡航認証 (UKETA) 取得費

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による)
- ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用



Sample Schedule

* スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。

Week 1

Mon	Tues	Wed	Thurs	Fri
9.00 - 10:00	9:00 - 10:00	9:00 - 10:00	9:00 - 10:00	9:00 - 10:00
10:00 - 11:00	10:00 - 11:00	10:00 - 11:00	10:00 - 11:00	10:00 - 11:00
Welcome Meeting	Lecture Review	English for IR	Lecture Review	Project prep (introduction)
11:00 - 12:00	11:00-12:00	11:00 - 12:00	11:00 - 12:00	11:00 - 12:00
Meet EAP Teachers and SOAS Tour	Lecture Review	English for IR	Lecture review	Project Prep
12:00 - 13:00	12:00 - 13:00	12:00 - 13:00	12:00 - 13:00	12:00 - 13:00
Lunch				
13:00-14:00	13:00 - 14:00	13:00 - 14:00	13:00 - 14:00	13:00 - 14:00
	Lecture discussion		Lecture discussion	Case study <i>The Ukraine</i>
14:00 - 15:00	14:00 - 15:00	14:00 - 15:00	14:00 - 15:00	14:00 - 15:00
Lecture 1 contextualisation	Seminar	Lecture 2 contextualisation	Seminar	Case study
Break (15m)	Break (15m)	Break (15m)	Break (15m)	Break (15m)
15.15 - 16.15	15.15 - 16.15	15.15 - 16.15	15.15 - 16.15	15.15 - 16.15
Lecture 1 <i>Sovereignty and the Modern State System</i>		Lecture 2 <i>Great Powers: U.S. Hegemony</i>		

Week 2

Mon	Tues	Wed	Thurs	Fri
9.00 - 10:00	9:00 - 10:00	9:00 - 10:00	9:00 - 10:00	9:00 - 10:00
Bank Holiday				
10:00 - 11:00	10:00 - 11:00	10:00 - 11:00	10:00 - 11:00	10:00 - 11:00
	Project Prep (Finalise groups)	Lecture Review	English for IR	Lecture Review
11:00 - 12:00	11:00 - 12:00	11:00-12:00	11:00 - 12:00	11:00 - 12:00
	Project Prep	Lecture Review	English for IR	Lecture review
12:00 - 13:00	12:00 - 13:00	12:00 - 13:00	12:00 - 13:00	12:00 - 13:00
	Lunch			
13:00-14:00	13:00-14:00	13:00 - 14:00	13:00 - 14:00	13:00 - 14:00
		Case study <i>Failed States and Yemen</i>		Seminar
14:00 - 15:00	14:00 - 15:00	14:00 - 15:00	14:00 - 15:00	14:00 - 15:00
	Lecture 3 contextualisation	Case study	Lecture 4 contextualisation	Seminar
Break (15m)	Break (15m)	Break (15m)	Break (15m)	Break (15m)
	15.15 - 16.15	15.15 - 16.15	15.15 - 16.15	15.15 - 16.15
	Lecture 3 <i>The United Nations and Collective Security</i>	Lecture discussion	Lecture 4 <i>North-South, Failed States and Neo-Imperialism</i>	Lecture discussion

Week 3

Mon	Tues	Wed	Thurs	Fri
9.00 - 10:00	9:00 - 10:00	9:00 - 10:00	9:00 - 10:00	9:00 - 10:00
9.30am Welcome Talk				
10:00 - 11:00	10:00 - 11:00	10:00 - 11:00	10:00 - 11:00	10:00 - 11:00
Project Prep	Lecture Review	English for IR	Lecture Review	Presentations
11:00 - 12:00	11:00-12:00	11:00 - 12:00	11:00 - 12:00	11:00 - 12:00
Project Prep	Lecture Review	Project Preparation.	Lecture review	Presentations
12:00 - 13:00	12:00 - 13:00	12:00 - 13:00	12:00 - 13:00	12:00 - 13:00
Lunch				
13:00-14:00	13:00 - 14:00	13:00 - 14:00	13:00 - 14:00	13:00 - 14:00
	Lecture discussion		Case study <i>China's Belt and Road Policy</i>	Farewell
14:00 - 15:00	14:00 - 15:00	14:00 - 15:00	14:00 - 15:00	14:00 - 15:00
Lecture 5 contextualisation	Seminar	Lecture 6 contextualisation	Case study	
Break (15m)				
15.15 - 16.15	15.15 - 16.15	15.15 - 16.15	15.15 - 16.15	15.15 - 16.15
Lecture 5 <i>The Emergence of China as a Superpower</i>		Lecture 6 <i>The State in the 21st Century</i>		



「ロンドン大学は、多様性が高く世界全体 を視野に入れた大学です」

(2024年度派遣学生によるキャッチコピー)

2024年度参加者からの声

授業・課題 (2024年度は English Language Skillsコース)

所感としてはPACEの半年間を3週間に凝縮したものという印象だった。ただPACEと異なるのは、日常的に英語を使うため普段よりも効率よくアウトプットができた。そのためリスニングとスピーキングに関しては、日本では得られない成長ができたと感じる。リスニングは急に話しかけられた時に一度で聞き取れる頻度が多くなり、スピーキングは即興のラップのように頭で考えずともスラスラと文章が出てくるという境地に達しそうになった。(経・2年)

In the classes at SOAS, we had to try to make the classes with a positive attitude, not just to join it. I think we have the same issue not only about the chance to speak up in the class, but also about motivation to improve English skills. (社・1年)

課外活動

Watching musicals in London's West End was another highlight of my time in the UK. Seeing productions like "The Phantom of the Opera" and "Les Miserables" in their original, English-language versions was a profoundly moving experience. It wasn't just about the spectacle of the performances but also about the cultural significance of being in one of the world's great theater capitals. (社・4年)

キングスクロス駅の有名なハリー・ポッターのフォトスポットに一人で出かけた時も英語を使う機会に恵まれた。私が待機列に並んでいると最後尾を探しているような夫婦を見かけたので声を掛けたところ、作品について盛り上がった。相手も私のおぼつかない英語を聞いてくださり、一人で来た私の写真撮影を快諾してくださるなど楽しく会話を交わすことができた。(社・1年)

学生寮 (2024年度は Paul Robeson Houseに滞在)

My experience living in the dormitory was largely positive, contributing significantly to my study abroad journey. The proximity to a supermarket made grocery shopping easy, and cooking with fellow students fostered a sense of community that enhanced my overall experience.

同じフラットで出会った院生は日本人であったが、ずっとメキシコに滞在していたため、日本語はあまり得意ではなく日本人という自認も希薄であった。キッチンを共有していた時に彼と話す機会があったが、その特異な半生を聞き、世界の広さと多様性を実感した。世界には多種多様なルーツを持つ人がいて、それを理解し受容する心を身につける必要があると考えさせられた。(社・4年)



■所在地 豪州ニューサウスウェールズ州 シドニー

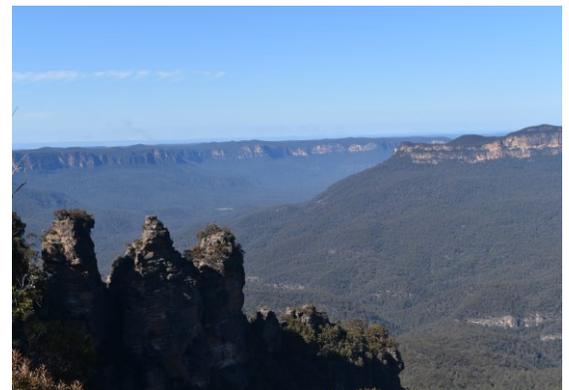
■都市情報 オーストラリア東南部にある都市で、ニューサウスウェールズ州の州都。同国の商工業の中心地。積極的に移民を受け入れてきたため、シドニーの人口の3分の1以上は海外出身者で、主にイギリス、アイルランド、東南アジアなどからの移民者やその子孫。使用されている言語も20以上の国際都市。日本との時差は+1時間。8月の平均最高気温は18℃。最低気温は10℃。

プログラム概要

派遣期間	2025年7月26日（土）～ 2025年8月24日（日）
研修先	1850年創立のオーストラリア最古の大学。その国際的視野が高い評価を受けている。オーストラリア国内主要8大学を総称する「グループ・オブ・エイト」の1校。Center for English Teachingは大学進学プロフェッショナル（ビジネス、看護、化学など）、試験対策等目的に応じた包括的なプログラムも提供。
クラス形態	クローズドクラス （グローバルイングリッシュプログラム）
カリキュラム 20時間/週	<ul style="list-style-type: none"> 一橋大学生のみのクローズドクラスです。 グローバルイングリッシュプログラム（午前） 午後はテーマ別のワークショップを予定（7回を予定）
語学要件	TOEFL-ITPスコア450点～上限なし
滞在先	ホームステイ *平日 2食、週末 3食付 ※ダブルプレースメントの可能性あり。
主な参加者 出身国	*夏季休暇中の為、日本人の割合が高い可能性があります。



Bondi Beach



Blue Mountains



■ 日程表

日次 / 月日 (曜)	地名	スケジュール
1 7月26日 (土)	東京 (羽田) 発	空路、シドニーへ
2 7月27日 (日)	シドニー着	研修先へ移動 〈ホームステイ〉
3 7月28日 (月)	シドニー	シドニー大学にて研修参加
28 8月22日 (金)		〈ホームステイ〉
29 8月23日 (土)	シドニー発	空港へ移動 空路、東京 (羽田) へ 〈機中泊〉
30 8月24日 (日)	東京 (羽田) 着	

■ 参加費用

参考費用 6月中旬に確定予定

1. 大学基金奨学金の算定対象に含まれるもの : **794,000円 (参考費用)**

- ・研修代金 (入学金、登録料、授業料、空港送迎代金、宿泊代、手続き・サポート代金)
- ・航空券代 (エコミー) ・空港諸税 ・空港施設使用料 ・燃油サーチャージ ・航空保険料 ・企画代金

2. 大学基金奨学金の算定対象に含まれないもの (個人負担) : **37,000円 (参考費用)**

- ・海外旅行傷害保険料 ・危機管理サービス (OSSMA) ・豪州電子渡航認証 (ETAS)費用

3. その他 (以下の項目については各自算出のこと)

- ・自宅から空港までの往復交通費 ・超過手荷物代金 (航空会社規定による)
- ・上記以外の渡航手続きにかかる一切の費用
- ・渡航先での小遣い、上記宿泊代に含まれない食費 ・宿泊先から大学までの交通費 ・課外活動費 (任意参加のもの)
- ・その他上記1及び2に含まれない費用



Sample Schedule

2024年実施の4週間プログラムのスケジュール

* スケジュールはあくまでも参考例です。諸事情により変更になる場合があります。

Week1	29 July 24	30 July 24	31 July 24	1 August 24	2 August 24
	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Session 1 8:30-10:30am	8:30-9:00am Orientation Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Session 2 10:45-12:45pm	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Afternoon	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Campus Tour Student Ambassadors	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop
Week2	5 August 24	6 August 24	7 August 24	8 August 24	9 August 24
	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Session 1 8:30-10:30am	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Session 2 10:45-12:45pm	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Afternoon	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop
Week3	12 August 24	13 August 24	14 August 24	15 August 24	16 August 24
	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Session 1 8:30-10:30am	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Session 2 10:45-12:45pm	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Afternoon	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop
Week4	19 August 24	20 August 24	21 August 24	22 August 24	23 August 24
	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Session 1 8:30-10:30am	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Session 2 10:45-12:45pm	Global English	Global English	Global English	Global English	Global English
Afternoon	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	Free afternoon/ Enrich your program with a workshop	1:45-3:45pm Workshop	12:45-2:30pm Farewell lunch

「シドニー大学は、新しい自分のあり方に 気づける大学です。」

(2019年度派遣学生によるキャッチコピー)

2019年度参加者からの声

授業・課題

授業は主に、学生同士のディスカッションが7割、先生による授業が3割ほどで進行する。ディスカッションの内容は、簡単なものでは身の回りのニュースや最近行った場所について、難しいものでは英語の文法、倫理、社会問題などを扱うため、適度に頭を休められる一方、適度に頭を使うことができ、集中力が切れることなくディスカッションに参加できる。(経・4年)

印象に残っているのは、毎週月曜日の1コマ目に、前週で自分の英語スキルで弱かったところを挙げ、そのスキルを伸ばすために、この1週間、毎日することの目標を立て、実行しよう、ということだ。長期目標としては、英語のスキルを向上させる、ということで学生同士共通していることと思うが、1週間という細かいスパンで具体的な目標を立てることが、達成につながるのだと感じた。(経・1年)

課外活動

友人とシドニー観光をすることができたことは良い経験となった。非常に興味深く感じたことは、多くのお店が朝早くに始まり、夜は早く閉じるということだ。スーパーマーケットなどの店は夜遅くまでやっているが、24時間営業の店はほとんどなく、日本との差を感じた。多少物価が高いとは感じたもののさほど気にならない程度であり、不便など一切感じず、むしろ朝からお店がやっていることは慣れてしまえば非常に便利に思えた。(経・1年)

現地についたらなるべくグーグルマップを使わず、外国のかたに道を尋ねようと決めていたのでドキドキしながら道を尋ねると、レッドファーン駅からシドニー大学まで付き添ってもらえた。よく日本人は外国人よりも親切だという印象をもつ人がいるが、案外そうでもないと思った。(経・1年)

ホームステイ

印象的な出来事は、同じくそこでステイをしていた中国人女性とグランマとの会話だ。その中国人女性は、初日のご飯を見て野菜が欲しいと言った。確かに、夕食に野菜がないことは私も気になっていたが、それをいう事は失礼だと思っていた。しかし、翌日から野菜がでるようになった。グランマイわく、不満があればそれを言ってもらわないと作り続けてしまうので、意見があったら言ってほしい、とのこと。このように、他人からの要望を失礼と捉えず、一つの意見として受け入れるという精神性は見習いたい。(経・4年)

私はホストマザーと料理をきっかけに仲良くなることができたが、きっかけは何でも良い。食事中もホストファミリーと話す絶好の機会なので、最大限活用するべきだ。また、友達の話や他のホストファミリーを羨ましいと感じることがあると思う。しかし、そこでがっかりして終わるのではなく、与えられた環境の中で、いかにホストファミリーと積極的にコミュニケーションを取るかが重要だ。そうすることで自分の英語の能力もぐんぐん上がるのではないかと思う。(経・1年)



教務課 留学支援係(短期留学担当)